資料－２

第１１回
球磨川流域治水協議会
説明資料

その他情報提供

令和7年6月5日

球磨川リバーミュージアム構想の推進に向けた取組み

○　球磨川リバーミュージアム構想の策定に向けて、令和６年度には流域市町村の職員を対象とした勉強会やワークショップを実施し、大まかな方向性や目指す姿を示した基本構想（素案）を策定。

○　素案では、「川との共生」をテーマに「川の恵み」と「防災」を活かした取組みやスポットを連携させ、流域内外に広く発信することで、流域の魅力と防災力の向上を図ることを目指す姿として位置づけた。

リバーミュージアムの目指す姿

流域に向けて

流域で暮らす価値・魅力の再認識

川の恵みと防災を学び、豊かな自然や景観、食を体感することで、川との共生に興味を持ち、生まれ育った地域への誇り・郷土愛を育んでいる。

地域防災力の向上

緑の流域治水の理念のもと、災害の教訓を活かし、住民一人ひとりが球磨川と上手に付き合い、安全安心に過ごすことができている。

流域外に向けて

来訪者の増加

川との共生を肌で感じられる流域ならではの特別な価値を創出し、多くの人が訪れている。

豪雨災害リスクの軽減

流域の防災のノウハウが注目を集め、交流が進み、日本中で活かされている。

【令和７年度の取組み】

○　基本構想（素案）で位置づけた大まかな方向性や目指す姿を実現するために必要な取組みを、国・県・流域市町村等で検討し、球磨川リバーミュージアム構想の策定を目指す。

⇒　構想の検討にあたっては、令和７年４月にJR九州と熊本県で交わしたJR肥薩線（八代～人吉間）の鉄道での復旧に関する最終合意書に基づくJR肥薩線復興アクションプランの取組みと連携しながら進める。

熊本地方気象台
Kumamoto Meteorological Office

今年の梅雨の見通しについて

歩み続けて150年　防ぐ災害・守る未来
（気象業務開始150周年記念ロゴ&キャッチコピー）

熊本県内の梅雨時期の降水量

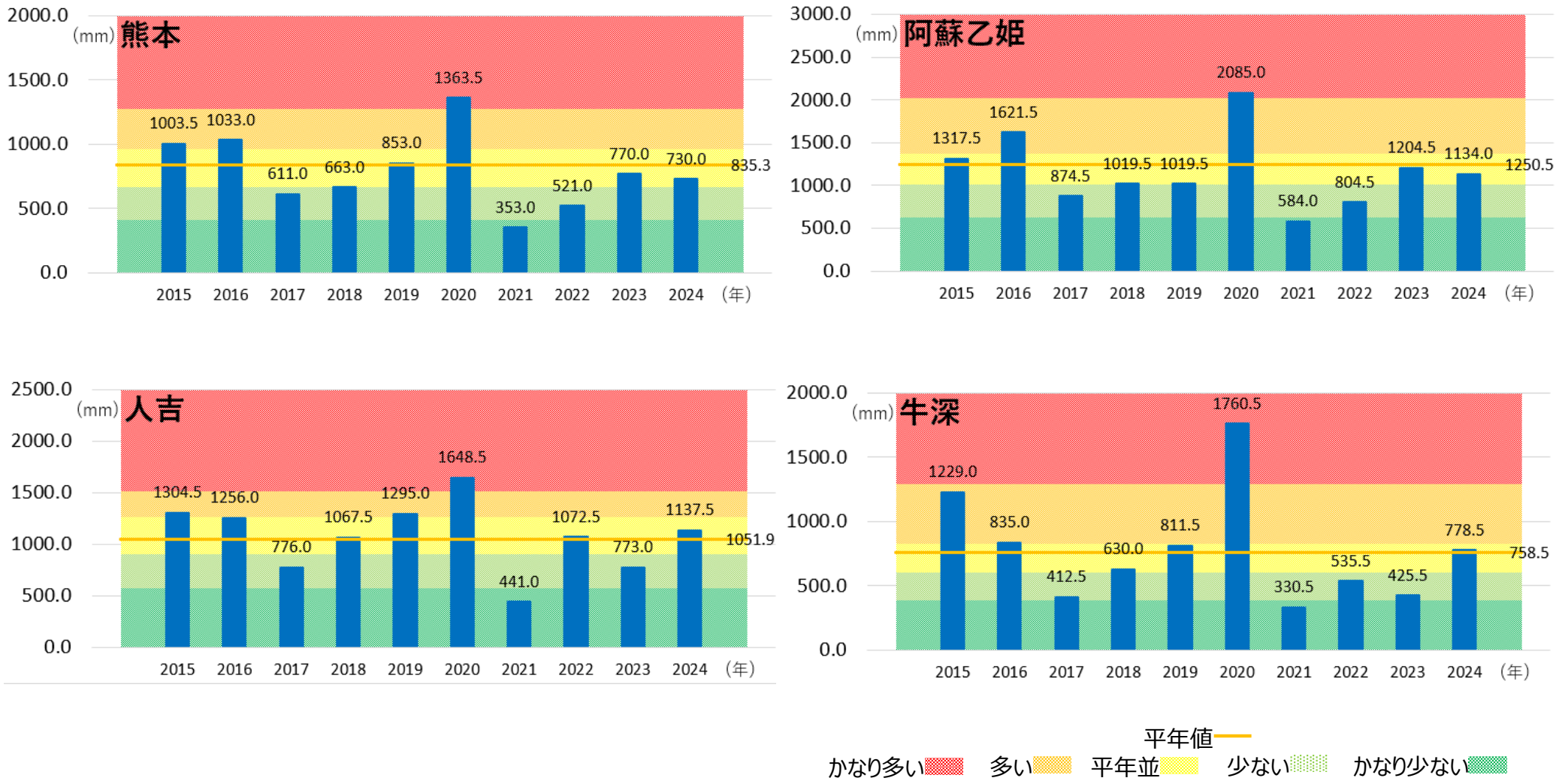
熊本地方気象台
Kumamoto Meteorological Office

※九州北部地方：山口県、福岡県、大分県、長崎県、佐賀県、熊本県

九州北部地方の梅雨入り、梅雨明け日

【平年値】梅雨入り：6月４日頃、梅雨明け：7月19日頃（令和6年：梅雨入り：6月17日頃、梅雨明け：7月17日頃）

熊本県内主要４地点における梅雨時期の合計降水量(2015年以降)



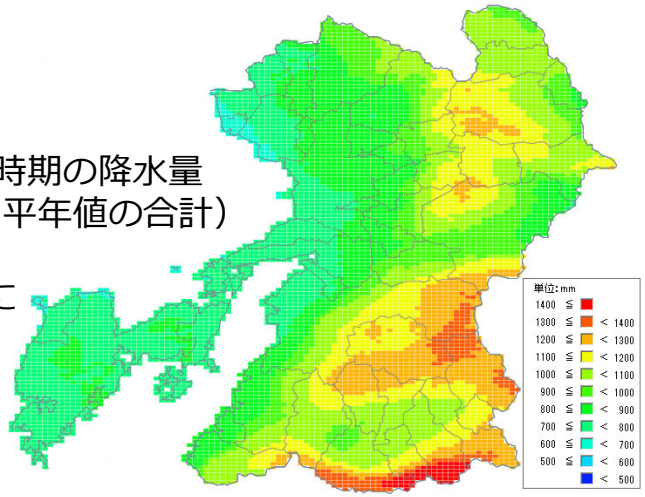
熊本県の梅雨の特徴

熊本地方気象台
Kumamoto Meteorological Office

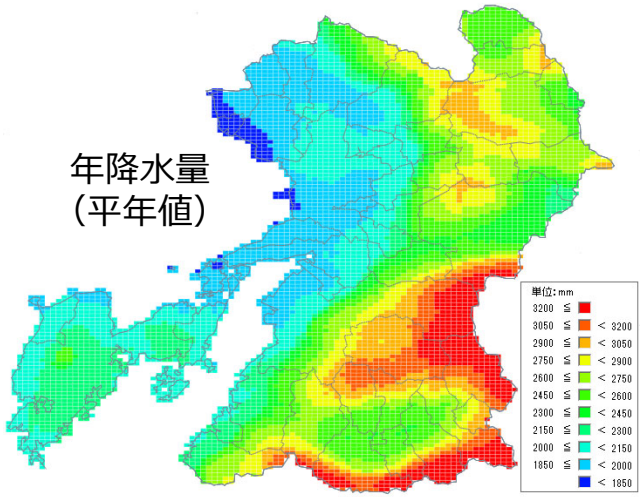
平年値（1991～2020年）による、年間降水量に占める梅雨時期（６～７月）の降水量の割合

観測地点	平年降水量（mm）		比率 %
	梅雨時期	年間	
熊本	835.3	2007.0	42
阿蘇乙姫	1250.5	3009.6	42
人吉	1051.9	2534.9	41
牛深	758.5	2109.8	36
下関	563.0	1712.3	33
福岡	548.7	1686.9	33
佐賀	693.8	1951.3	36
長崎	628.6	1894.7	33
大分	574.9	1727.0	33
宮崎	855.6	2625.5	33
鹿児島	935.1	2434.7	38

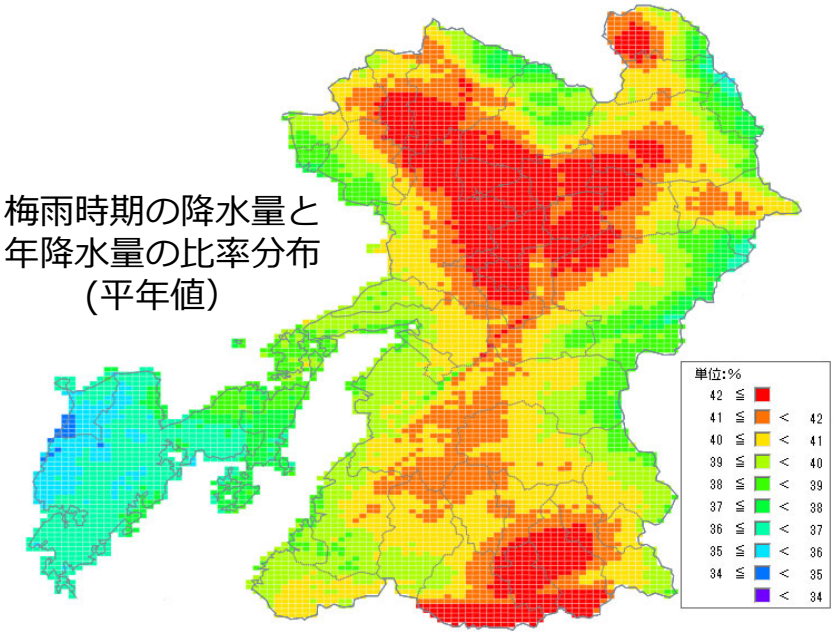
梅雨時期の降水量
（6,7月平年値の合計）



年降水量
（平年値）



梅雨時期の降水量と
年降水量の比率分布
(平年値)



熊本県内の年間降水量は、九州山地西側の球磨地方や阿蘇地方で特に多い。
また、**年間降水量に占める梅雨時期の降水量の割合が比較的大きいのが熊本県の特徴。**
たとえば、熊本では年間降水量2000ミリ前後に対し、6～7月の梅雨時期の降水量は800ミリ程度で、
年間降水量の約４割を占める。

今年の梅雨の見通し（向こう3か月の天候の見通し）

熊本地方気象台
Kumamoto Meteorological Office

九州北部地方　向こう３か月の予報のポイント（5/20発表）

- 暖かい空気に覆われやすいため、**気温は高い**
- 前線や湿った空気の影響を受けやすいため、**降水量は平年並か多い**

6月	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
7月	期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
8月	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

	6月	7月	8月
気　温	低　並　高（%）	低　並　高（%）	低　並　高（%）
	高い 10：30：**60**	**高い** 20：30：**50**	**高い** 20：30：**50**
降水量	少　並　多（%）	少　並　多（%）	少　並　多（%）
	ほぼ平年並 30：30：**40**	**ほぼ平年並** 30：30：**40**	**ほぼ平年並** 30：30：**40**

熊本地方気象台
Kumamoto Meteorological Office

令和8年出水期からの防災気象情報の改善

歩み続けて150年　防ぐ災害・守る未来
（気象業務開始150周年記念ロゴ&キャッチコピー）

気象庁
Japan Meteorological Agency

気象業務150周年
特設WEBサイト

様々な防災気象情報

特別警報の種類

大雨、暴風、暴風雪、大雪、
高潮、波浪

警報の種類

大雨、暴風、暴風雪、大雪、
高潮、洪水、波浪

注意報の種類

大雨、強風、風雪、大雪、
高潮、洪水、波浪、
濃霧、雷、乾燥、なだれ、
着氷、着雪、霜、低温、融雪

危険度を色分けした時系列

土砂災害警戒情報

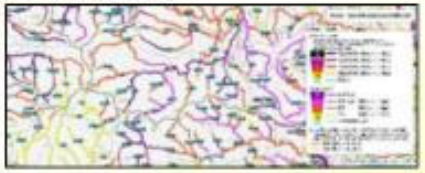
土砂災害の危険度が非常に高まったときに、対象となる市町村を特定して都道府県と気象庁が共同して発表

指定河川洪水予報

河川管理者（国土交通省、都道府県）と共同し、河川を指定して発表

キキクル（危険度分布）

雨による災害の危険度を地図上にリアルタイム表示



○○県（○○地方）気象情報

警報等を予告、補完する事項または少雨・低温など注意を喚起すべき事項を気象情報として発表

記録的短時間大雨情報

数年に一度程度の短時間の大雨が観測された場合は、記録的短時間大雨情報として発表

線状降水帯に関する様々な情報

・顕著な大雨に関する気象情報

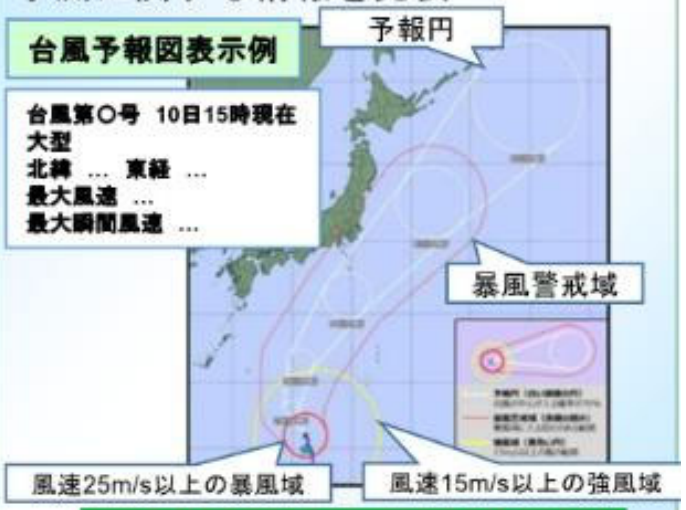
線状の降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続いている状況を「線状降水帯」というキーワードを使って解説する情報

・線状降水帯の発生の予測

線状降水帯による大雨の可能性が高い場合に、気象情報において半日程度前から地方予報区単位で呼びかける情報

台風に関する情報

台風の中心位置や強度の実況および予測に関する情報を発表



5日先までの進路及び強さの予報を発表

竜巻注意情報

竜巻など激しい突風の発生する危険な気象状況の場合に発表

千葉県竜巻注意情報　第2号
平成29年10月29日17時42分　銚子地方気象台発表

千葉県北西部、南部は、竜巻などの激しい突風が発生しやすい気象状況になっています。

空の様子に注意してください。雷や急な風の変化など積乱雲が近づく兆しがある場合には、頑丈な建物内に移動するなど、安全確保に努めてください。
落雷、ひょう、急な強い雨にも注意してください。

この情報は、29日18時50分まで有効です。

主な防災気象情報と警戒レベルとの関係

熊本地方気象台
Kumamoto Meteorological Office

警戒レベル相当情報	防災気象情報				
	洪水等に関する情報			土砂災害	高潮害
	指定河川洪水予報（河川毎）	洪水害（市町村毎）	大雨浸水害（市町村毎）		
5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報（浸水害）		大雨特別警報（土砂災害）	高潮氾濫発生情報
4相当	氾濫危険情報			土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報
3相当	氾濫警戒情報	洪水警報		大雨警報（土砂災害）	警報に切り替える可能性が高い高潮注意報
2相当	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報		高潮注意報
1相当	早期注意情報				

警戒レベルとの対応関係が整理されてはいるものの、次のような課題があってとても分かりにくい。

- **情報名称がバラバラで、どのレベルに相当する情報なのか非常にわかりづらい**
- 警戒レベル４相当の情報がないものがある（洪水・大雨浸水）
- 特別警報と警報が同じ警戒レベル４になっている（高潮）
- 高潮注意報がレベル２とレベル３相当に分かれている（高潮）
- 同じ警報が異なる対象災害を兼ねている（大雨警報が土砂災害と浸水害を兼ねるなど）

新しい防災気象情報

熊本地方気象台
Kumamoto Meteorological Office

- 防災気象情報（大雨浸水、河川氾濫、土砂災害、高潮）を５段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル４相当の情報として危険警報を新設**。
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表**。（例：レベル４大雨危険警報 等）
- 情報と対応する防災行動との関係が明確に。（レベルの数字で、とるべき行動が分かる！）

新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	大雨浸水 低地の浸水や小さな河川の氾濫	河川氾濫 １級河川などの大きな河川の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や高波による浸水	行動を促す情報 避難情報等	住民が取るべき行動
5	レベル５ 大雨特別警報	レベル５ 氾濫特別警報	レベル５ 土砂災害特別警報	レベル５ 高潮特別警報	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保！
＜警戒レベル４までに危険な場所から かならず避難！＞						
4	レベル４ 大雨危険警報	レベル４ 氾濫危険警報	レベル４ 土砂災害危険警報	レベル４ 高潮危険警報	避難指示	危険な場所から全員避難
3	レベル３ 大雨警報	レベル３ 氾濫警報	レベル３ 土砂災害警報	レベル３ 高潮警報	高齢者等避難	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
2	レベル２ 大雨注意報	レベル２ 氾濫注意報	レベル２ 土砂災害注意報	レベル２ 高潮注意報	左記情報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
1	早期注意情報					災害への心構えを高める

※情報名称の最終決定は、法制度などとの関係も踏まえ、気象庁・国土交通省が行う

新しい防災気象情報

熊本地方気象台
Kumamoto Meteorological Office

- これまで、気象警報・注意報を補足する情報等として伝えてきた様々な気象情報を、**「気象防災速報」と「気象解説情報」の大きく２つのカテゴリーに分類**して発表。
- 線状降水帯の発生や、記録的な短時間大雨など、顕著現象が発生または発生しつつある場合にその旨を、「気象防災速報」として速報的に伝える。

気象防災速報 ・・・極端な現象を速報的に伝える情報

現状	今後（令和８年度出水期～）
記録的短時間大雨情報	気象防災速報（記録的短時間大雨）
顕著な大雨に関する気象情報	気象防災速報（線状降水帯発生）
線状降水帯２～３時前予測（R8運用開始予定）	気象防災速報（線状降水帯予測）
顕著な大雪に関する気象情報	気象防災速報（短時間大雪）
竜巻注意情報	気象防災速報（竜巻注意/竜巻目撃）

気象解説情報 ・・・現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報

全般/地方/府県気象情報	気象解説情報（※）
全般台風情報	気象解説情報（台風第○号）

※何に着目した情報なのかがわかるよう、括弧内にキーワードを付す。

最後に

令和8年出水期からの新しい情報の運用開始にあたっては、大幅に情報が変更になります。
各市町村での対応におかれまして、ご不明な点などございましたら、お気軽に気象台までお問合せ下さい。

【見込まれる対応】

- 地域防災計画の改訂
- 避難情報の発令基準の見直し
- 防災体制や参集基準の見直し
- タイムラインの見直し
- 要配慮者利用施設の避難確保計画の修正（対象施設への修正支援）
- 防災メール、防災ラジオ、防災行政無線等による警報等の住民への伝達手段の改修
- 警報等の住民への伝達文の改修（新しい情報名称への変更）
- 新しい情報の住民への周知広報